

新潟民商

新潟民主商工会
新潟市沼垂西3丁目
電話 (243) 0141
22年1月17日

インボイス制度中止・充実した新型コロナウイルス感染症対策で営業と生活を守ろう!



新潟民商 2022年青旗びらき
新潟民商では5日、毎年年初めの行事となる「2022年青旗びらき」を民商会館にて開催しました。新型コロナウイルス感染症を鑑みて例年行っていた懇親会は行わなかったものの、54名が参加しました。

山田政実副会長の開会のあいさつの後、「全商連70周年記念DVD」をみんなで視聴。全商連が歩んできた歴史や活動について学び合いました。

続けて野上昇会長が「新型コロナウイルス感染症対策で奮闘してきた。民商に入って良かったと感じてもらえる人を増やしていきたい。」とあいさつ。また来賓として駆け付けてくれた日本共産党の飯塚孝子市議と平あや子前市議からは、新潟市の情勢や野党統一で行われた衆議院選挙戦の様子の報告がありました。

秋の運動の表彰では細山俊夫拡大推進委員長が商工新聞・会員拡大に奮闘した会員を紹介し、手違いで顕彰品はお預けとなったものの25名の方々が紹介されました。

最後に春の運動への行動提起が行われ、①各支部で集まりの計画と新型コロナウイルス感染症対策制度を知らせながらの訪問を強めること、②2022年は参院選や地方選を控えており、中小業者を見殺しにするような政治でいいのかを全会員に問う集まりにすること、③申告作成会で班づくりの議論を進めることなど提起され閉会となりました。

事業復活支援金を活用し 営業とくらしを守ろう!

対象者

新型コロナウイルスの影響で、2021年11月～2022年3月のいずれかの月の売上高が、2018年11月～2021年3月までの同月売上高と比較して50%以上または30%～50%減少した事業者が対象

給付額

上限額 (下の表)
(基準期間の売上高) - (対象月の売上高) × 5

※申請開始日は未定。

詳細等は決まり次第掲載します。

売上減少率	個人	法人		
		年間売上高 1億円以下	年間売上高 1億円超～5億円	年間売上高 5億円超
▲50%以上	50万円	100万円	150万円	250万円
▲30%～50%	30万円	60万円	90万円	150万円

住民税非課税世帯給付金制度

対象者 令和3年度が住民税非課税世帯
手続き 市から確認書が届く ↓ 市へ返信

家計急変世帯への給付金も有ります!

対象者 令和3年1月以降の収入が減少し、住民税非課税相当の収入となった世帯
手続き 市に申請が必要

※住民税非課税相当とは、世帯員全員の年収見込額(令和3年1月以降の任意の1ヶ月収入×1.2倍)が住民税非課税水準以下であること

住民税非課税世帯の所得基準

	給与収入	所得
単身	96万5千円	41万5千円
扶養家族1名	146万9千円	91万9千円
扶養家族2名	188万円	123万4千円
扶養家族3名	232万8千円	154万9千円
扶養家族4名	278万円	186万4千円
障害者・寡夫 ひとり親・未成年	204万4千円	135万円

日程

- 税金相談員学習会 1月17日(月)
- 第9回スキルアップセミナー 1月19日(水)

**自主計算パンフでデジタル化やインボイスを学ぶ
―確定申告準備集会を開催・白根支部―**

白根支部では1月10日に地域生活センターで確定申告準備のための集会を開催し、8名の会員が参加しました。

今年は2冊になった「自主計算

パンフレット」を題材に学習会を進行。冒頭の「自主計算を貫くために」では、総選挙の結果や、デジタル庁創設の危険性と将来像について学びました。

今年1月1日から施行された電子帳簿保存法の話題では「この齢になってそんなことを言われても対応できない」など対応できない人をないがしろにする制度に怒りが爆発。またインボイス制度も話題となり、施行された場合の対応などを議論。「対応を考えながらも署名や選挙で制度の実施を止めよう」と意思統一しました。

デジタル化が進むと納税者の管理、従わせようとする動きが強まります。不当な税務調査や国税局の介入に力を合わせて「納税者が主人公」を貫いて奮闘することを再確認する会となりました。

**訪問対話で青年部の活動に展望広がる
―青年部・久しぶりの新年会を開催―**

1月8日に青年部の新年会が開催され、5名が参加しました。

最初に来賓で青年対策部長の市橋雅彰副会長が「親会として青年部を全面的にバックアップする。集まりの計画や声掛けなどの際には相談してほしい」とあいさつ。続けて青年部・中村浩部長は「親会からの支援を受けながら青年部を盛り上げていきたい。今後は新型コロナウイルスの状況を見ながら集まりを計画していきたい」と今後の活動への意気込みを語りました。

今年は新型コロナウイルスの感染が拡大している事もあり、少人数での開催となりました。しかし、この間に訪問で声をかけた部員からは「新型コロナウイルスが落ち着いたら青年部の集まりに参加したい」との声が多数あげられています。今後も訪問による声掛けを強め、部員同士のつながりを深める取り組みをすすめていく予定です。



**2年ぶりの開催で商売の交流に話が弾む
―大形・新入会員歓迎・若手業者の会―**

大形支部役員会では新入会員や若手の会員との交流の場を増やそうと、2年振りに新入会員歓迎会&若手業者の交流会を14名の参加で開催。新型コロナウイルス感染症対策を十分に取りながらの開催となりました。

交流会のトップバッターは新入会員の目黒さん（建業）。「新人と言われるのが恥ずかしいオールドルキーですが、よろしくお願いします」とあいさつすると参加者一同、拍手喝采。続けて参加者が一人ひとり自分の商売を自己紹介しながらの交流となりました。

交流では「遊興場関連の仕事だが新型コロナウイルスで厳しい状況」「住宅設備工事業だが給湯器などが半導体不足で手に入らず仕事にならない」などの大変な状況が出し合われ、国の事業復活支援金に期待している声が出されます。その中で管工事を営む会員に「事務所の上水道工事を見積りして欲しい」など、商売に直結する話も出されていきました。

賑やかに交流会は終了。新人の目黒さんも「楽しかったので、また声を掛けてください」と笑顔。立川支部長は「継続して取り組み、全会員が参加する支部にしていきたい」と抱負を語っていました。



**経営対策部・青年部共催
ビジネススキルアップセミナー
小規模事業者持続化補助金に向けた
第5回 事業計画書作成会**

1月19日(水) 19:00~20:30
会場：えんではよごし
(江南区横越川根町3丁目 1-48)

今回のビジネススキルアップセミナーは、前回と同様に「小規模事業者持続化補助金」の申請に必要な「事業計画書」を参加者同士で意見交流を行ないながら作成します。自身の事業計画を第三者から意見をもらうことで新たな発見があるかもしれません。

講師 山本 美幸さん
(ミシンの友愛)
「持続化補助金の獲得経験があり、作成のポイントなどを教えてくださいます」